仕　様

項目＼形名	HT－2001V
	屋内形
	節電タイプ
適用料金制度	深夜電力
タンク容量	200ℓ
定　格	単相200V 2.4kW
沸き上り湯温	65/88℃（2段切替）
重量（満水時）	約55（255）kg
外形寸法（㎜）幅	550
外形寸法（㎜）奥行	500
外形寸法（㎜）高さ	1900
安全装置	自動温度調節器・温度過昇防止器・漏電しゃ断器・過圧防止弁
配管内蔵部品	減圧弁・逃し弁・排水せん
配管口径	給水・給湯　PT20A　オネジ、排水　PT15A　オネジ
別売部品	絶縁パイプ・凍結防止ヒーター・脚部カバー
付属品	アース棒
用　途	セントラル給湯 1～2人家族

HEC

北電営配エンジニアリング株式会社

〒060 札幌市中央区南1条東1丁目2番-1 TEL（011）251-1141

ご購入年月日	年　　月　　日
ご購入店名	

お客様へ……おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。

C.I (M) 機☆BSCL (H)

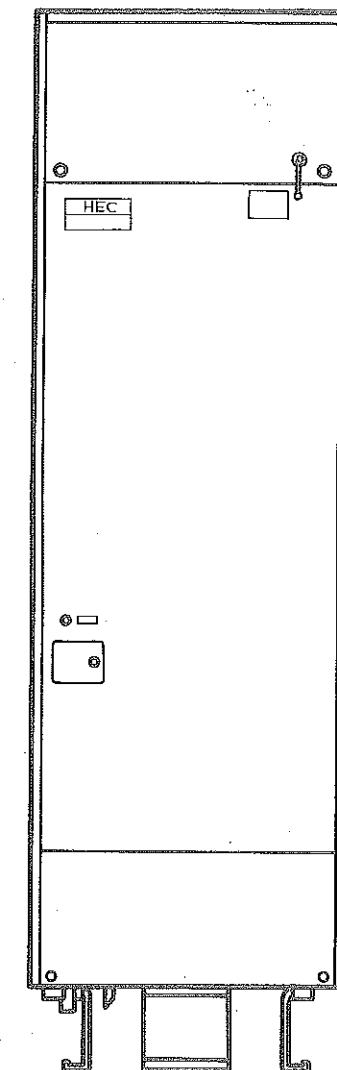
HEC電気温水器取扱説明書

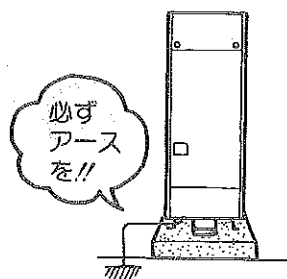
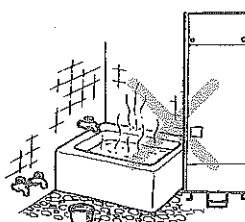
形名　HT-2001V

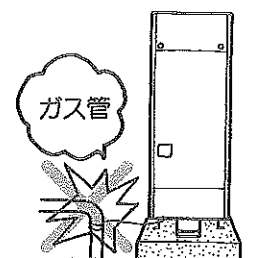
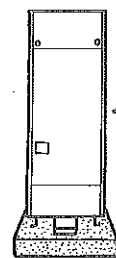
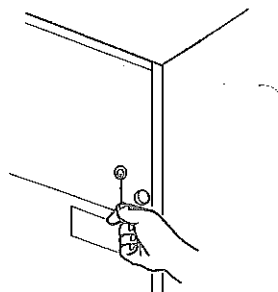
〈節電タイプ〉
HT－2001V……屋内形

- このたびは HEC 電気温水器をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- お求めの温水器についてのはたらき、注意事項をよく知っていただき、正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
  またお読みになったあとは、保証書、工事説明書とともに、見やすいところに大切に保存してください。
- この温水器は、温水器特別深夜電力料金の適用を受けられますので、経済的で、安全にご使用いただける便利な製品です。いつでもお湯のある、豊かなくらしを、お楽しみください。
- この温水器の据え付けについては、工事説明書をご参考に、工事店とよくご相談ください。

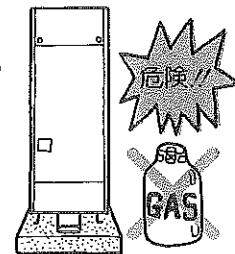
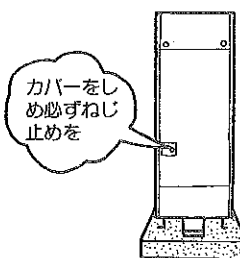
※水は必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水をご使用ください。

※不用意に飲用しないでください。使用水の水質、配管材料などにより、水質が変ることがありますので、飲用にするときは、保健所・衛生試験所などで、給湯せんからの水の検査を受けてからにしてください。

つぎのことは必ず守ってください。

火災や感電、やけどなどをおこす原因となり非常に危険です
守らずに万一事故が発生しても、当社は責任を負いかねます。

●アースが確実に取り付いていることを確かめてください。アースを取り付けないと万一漏電した場合でも、安全装置〔漏電しゃ断器〕が働きません。

●屋外や浴室等湿気の多い所およびガステーブルの横等の高温になる所には設置しないでください。故障の原因となります。

●ガス管、水道管へアースしたり、他の器具とアースを共用していないことを確かめてください。

●逃し弁は月に一度必ずチェックしてください。(詳しくは４ページをごらんください。)

●給湯せんから水が出ることを確かめてから通電してください。水を入れないで通電すると、ヒーターの寿命が短かくなります。

●朝、最初に給湯せんをひらくとき、蒸気が吹き出ることがありますので、やけどにご注意ください。

●ガス類や引火物を温水器のそばにおかないでください。温水器の電気部品から出るスパークでもれたガスなどに、引火するおそれがあります。

●給湯せんをひらいた最初、配管内の水が出てきますが、すぐ熱湯にかわります。やけどにご注意ください。

●点検や操作のあとには、点検扉をしめ、必ずねじ止めしてください。
点検扉をしめないとゴミが入り、漏電や感電のおそれがあります。ぬれた手でさわらないでください。

●お湯をご使用になっているときは、じゃ口が熱くなっていますからやけどにご注意ください。

各部のなまえとはたらき

前面板(上)
逃し弁・減圧弁はこの中にあります。

飾りねじ
前面板(上)を取外すときはこのねじをゆるめます。

前面板
電気配線工事はこれをはずして行ないます。

通電ランプ
お湯を沸かしているときに点灯します。

点検扉
このカバーをあけると漏電しゃ断器のツマミとテストボタン・節電スイッチがあります。

給湯口
このパイプからお湯が出ます。

排水口
タンク内の排水および逃し弁の排水を行ないます。

電源取入口
単相200Vの電源・アースを、ここから取り入れます。

ドレンパン排水口
万一水もれのとき、ここから排水します。

逃し弁
沸き上げ時のタンク内の膨張水をここから排水します。

減圧弁
タンクへの給水圧力を0.6kg/㎠に一定に保ちます。

逃し弁引きひも
逃し弁の動作チェックのとき、このひもを「開」の位置まで引きます。

タンク
この中に水を入れてお湯にします。

前面板(下)
排水せんはこの中にあります。配管工事および電気配線工事はこれをはずして行ないます。

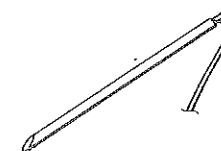
給水口
タンクへの給水を行ないます。

脚

過圧防止弁排水口
温水器に異常な圧力が働いたとき、排水されます。

付属品

アース棒

使いかた

準備　ひととおりお読みください。

給水　最初はタンクや配管内のゴミなどを洗い流すため給水したら一度全部排水し、再び給水してください。

標準配管例

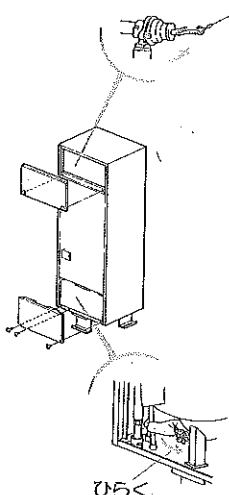
1　最初の給水のしかた

(1)排水せんをとじます。
(2)給湯せん、専用止水せんをひらきます。
約10分～20分で給湯せんから水が出てきます。
これでタンクは満水になります。

2　排水のしかた

(1)専用止水せんをとじます。
(2)前面板(上)・前面板(下)をそれぞれを止めているねじをゆるめて取りはずします。
(3)逃し弁のレバーをあげます。
レバーをあげないと、タンクの水が抜けにくくなります。
(4)排水せんをひらきます。
約20分～30分で水が抜けます。

手でレバーを上げる

ひらく

3　再給水のしかた

(1)逃し弁のレバーをさげます。
(2)排水せんをとじます。
(3)専用止水せんをひらきます。
(4)給湯せんから水が出てきたら給湯せんをとじます。
(5)前面板(上)・前面板(下)を取り付けます。

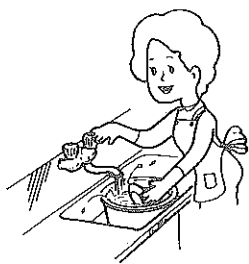
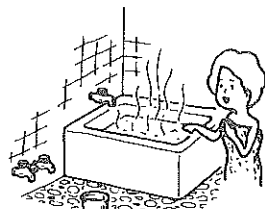
通電のしかた

給水が終りましたら本体左側中央の点検扉内の漏電しゃ断器のツマミを「入」にしてください。
操作後点検扉は確実にねじ止めしてください。

ご注意

- 通電時間内にお湯を使ったり、給水温度が13℃未満のときには、約88℃まで沸きあがらないことがあります。
- 通電されますと、逃し管から一晩で約6リットルの膨張水が出ますが、異常ではありません。

お湯の上手な使いかた　1日に使用できる湯量は限られています。お湯は大切にお使いください。

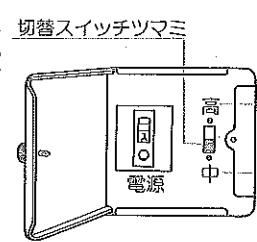
- お湯は容器に受けて使いましょう。流し洗いは、お湯不足の原因になります。

- お風呂に給湯するときは、湯をあふれさせないようにしましょう。

お風呂がぬるくなってさし湯をするときは、お湯があふれないように、残り湯をへらしてからお湯をたしましょう。

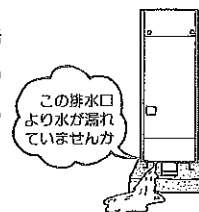
- 入浴はできるだけ夜11時以前に済ませるようにしましょう。

- 浴槽にはさめやすいものもあります。お風呂のふたはいつもきちんとして、家族が続けて入るようにしましょう。

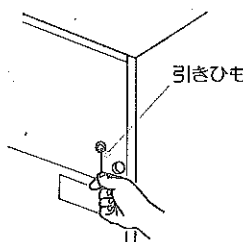
ご注意とお願い

節電スイッチの使いかた

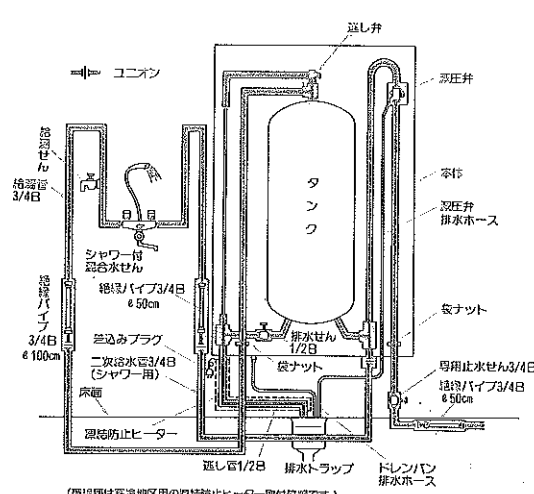
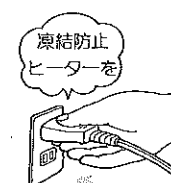
- このスイッチにより沸き上り湯温を88℃／65℃の2段に切替えられます。
- 沸き上り湯温を低くすることにより節電になります。
- ご家庭での湯の使用量に応じて沸き上り湯温を切替えて使用されることをおすすめします。

過圧防止弁について

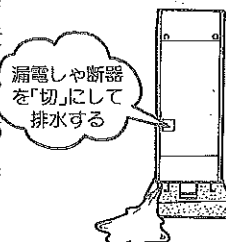
- 過圧防止弁排水口より水(または湯)が漏れている場合には、配管システムまたは温水器に異常がありますので、お使いになるのをやめ、漏電しゃ断器の電源を「切」にし、専用止水せんをしめてからお買いあげの販売店またはお客様相談窓口に連絡をして修理を受けてください。

逃し弁の動作チェックのしかた

月に1度、逃し弁引きひもを2～3回引いて動作をチェックしてください。

- 引きひもを引いたとき排水し、戻したとき排水が止まれば正常です。

ご注意

- 逃し弁の弁部に水アカの付着や、異物のカミ込みがあると、逃し管より常にお湯が流れ出るおそれがあります。
- 逃し弁は水からお湯になるときの膨張分を排水し、タンクを守る安全装置です。
逃し弁が正常に動作しないと、タンクが変形し水もれするおそれがあります。

寒冷地には凍結防止を

- 気温がマイナス10℃以下になると、保温工事をしていても凍結のおそれがありますので、工事説明書どおりの配管工事をしてください。
- 水が凍るような時期になりましたら、図の凍結防止ヒーターの差し込みプラグを、100ボルトのコンセントに差し込んでください。暖かくなったら、プラグをコンセントから抜いてください。

長期間お使いにならないとき

- 1か月以上お使いにならないときには、必ず漏電しゃ断器の電源を「切」にしてください。
- タンクの水は変質するおそれがありますので、全部排水してください。

ご注意

- 再びご使用になるときは、必ず給水して、タンクが満水になったことを確かめてから、通電のしかた（3ページ）により、通電準備をしてください。
- 翌日ご使用になるときは、給湯せんから最初配管内の空気と蒸気が出ます。

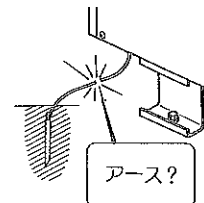
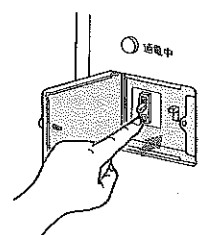
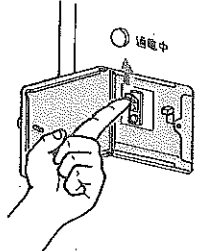
- 1か月以内の比較的短期間の場合には、漏電しゃ断器の電源を「切」にしてください。

お手入れのしかた

漏電しゃ断器の動作確認を

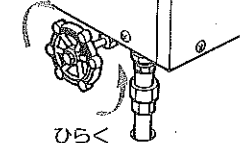
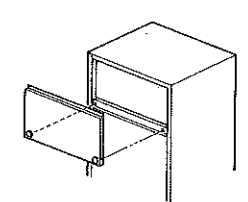
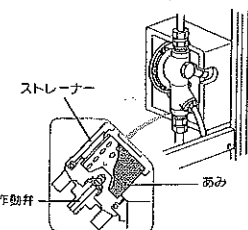
漏電しゃ断器は、万一漏電したとき自動的に電気を切るための安全装置です。

◉１か月に１回は、漏電しゃ断器の動作確認を深夜電力の通電時間内に、つぎのように確認してください。（通電ランプは前面板に付いています。）

1 アース線が途中で切れていないかどうか確認してください。

2 正面の点検扉をあけて、テストボタンを押してください。
漏電しゃ断器のツマミが「切」になり、通電ランプが消えれば正常です。

3 テストのあとは、必ずツマミを「入」にもどし、点検扉を確実にねじ止めしてください。

ストレーナーの掃除のしかた

湯水の出が悪くなったとき、または6ヶ月に１回はつぎの手順でストレーナーの掃除をしてください。

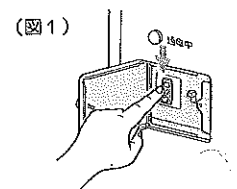
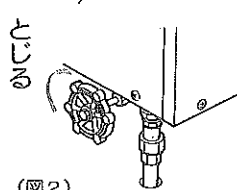
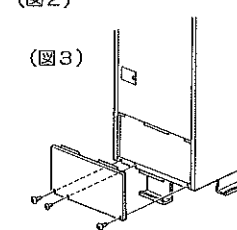
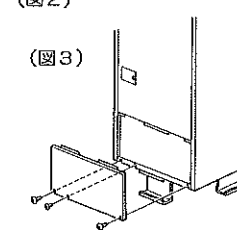
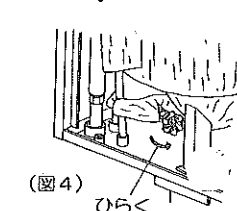
1 専用止水せんをとじます。

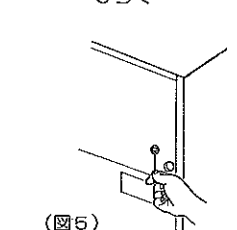
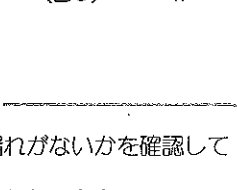
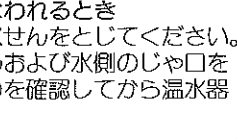
2 前面板(上)を取りはずします。

3 断熱用の発泡スチロールのパッキンを取りはずしてからストレーナーのふたをはずし、あみを掃除します。

4 もとどおりに組み込み、専用止水せんをひらきます。
水もれがないことを確認してから断熱用の発泡スチロールを取り付けてください。

タンク内の掃除のしかた

使用しているうちに水あかや沈澱物がタンクの底にたまります。きれいなお湯をお使いいただくために、必ず１か月に１回はつぎの手順で排水管から水あかなどを出してください。

タンク内のお湯を排水する場合には排水管が熱で変形しないように、タンク内のお湯を使いきった後、水になってから排水してください。

1 漏電しゃ断器のツマミを「切」にします。（図１）

2 専用止水せんをとじます。（図２）

3 前面板(下)を取りはずします。（図３）

4 排水せんをひらきます。（図４）

5 逃し弁引きひもを約２分間引いてください。（図５）

6 よごれた水がきれいな水にかわったら排水せんをとじ前面板(下)を取り付けます。
〔排水が見えないときは２分間くらい排水してください。〕

※お湯が出てくることがありますので、やけどに注意してください。

7 排水が終りましたら専用止水せんをひらきます。

8 逃し管からお湯が出てくるまで逃し弁引きひもを引いてください。

9 漏電しゃ断器のツマミを「入」にします。

ご注意

◉日常、配管の保温材破損や水漏れがないかを確認してください。

断水および近くで水道工事が行なわれるとき

◉工事が行なわれる前に専用止水せんをとじてください。

◉解除になったら、専用止水せんおよび水側のじゃ口をあけて、水がきれいになったのを確認してから温水器をお使いください。

サービスマンを呼ぶまえに

つぎのような現象のときは、故障でないときもありますので、サービスマンを呼ぶ前に必ず次のことを確かめてください。

現　象	確　認　事　項
お湯が出ない。	◉専用止水せんは開いていますか。 ◉断水ではありませんか。
お湯が沸かない。	◉漏電しゃ断器のツマミが「切」になっていませんか。
お湯がぬるい。	◉いつもにくらべてお湯を使いすぎていませんか。 ◉湯温切替の位置は適当ですか。 ◉タンクへの給水温度が10℃未満ではありませんか。
汚れたお湯が出る。	◉１か月に１回タンク内の掃除をしていますか。
逃し弁の逃し管から常にお湯が流れている。	◉逃し弁引きひもを２～３回引いてもお湯が止まりませんか。 ◉お湯が止まらないときは、逃し弁を交換する必要があります。 〔逃し弁は消耗部品です〕
減圧弁から水がもれる。 ストレーナー あみ 負圧作動弁	◉負圧作動弁からもれるときは、吐水口をマッチ棒などで数回つついてみても水が止まりませんか。

修理サービスについて

◉ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、漏電しゃ断器およびマイコンの電源を「切」にし、専用止水せんをしめてからお買いあげの販売店または下記のご相談先にご相談ください。
なお、ご相談されるときは、電気温水器の形名およびお買いあげの時期、故障の状況をお忘れなくお知らせください。

◉当社はこの電気温水器の補修用性能部品を製造打切後、最低６年間保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

◉ご贈答やご転居などで、修理サービスについておわかりにならないときは、お買いあげの販売店または下記のご相談先にご相談ください。

◉保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。

保証について

◉この電気温水器には「保証書」がついています。

◉保証書はお買いあげの販売店で発行しますから、必ずお受けとりください。
万一故障した場合には、保証書記載内容により、保証期間内は無料修理いたしますので大切に保管してください。

◉保証書にお買いあげ〔据付〕年月日、販売店名など所定事項の記入がないと有効とはなりません。
もし記入がないときは、すぐにお買いあげの販売店にお申しつけください。

◉この電気温水器の保証期間は、お買いあげ〔据付〕いただいた日から１年〔ただし、タンクの保証期間は５年〕です。

◉その他詳細は保証書をご覧ください。

ご相談先

お近くのお客様相談窓口にご相談ください。なお所在地は添付一覧表を、ご参照ください。

定期点検のおすすめ

◉お手入れの方法はご自身でもできるような簡単な内容になっておりますので、「逃し弁の動作チェックのしかた」および「お手入れのしかた」により行ってください。

◉なお、更に細かく点検を行なう場合は、専門の技術者がお客様に代って定期点検することもできますので、お買いあげの販売店またはお客様相談窓口にお問い合わせください。